

# 環境活動レポート

2012【第10版】(2011.4～2012.3)

EA-21 (エコアクション21)



[www.etod.co.jp](http://www.etod.co.jp)



株式  
会社

**環境と開発**

Environment: **Development**

## 経営理念

社会の要望に応え、『環境と開発』のコンサルティングサービスを提供し、良好なアメニティの創造に寄与することで、社会利益を追求する。  
変貌する人類社会と地球環境の調和、『環境と開発』の共生を目指す。

## 環境方針

時代の変革による多様な価値観に対応し、常に高品質の「環境と開発」に関するコンサルティングを目指すと共に、環境への取り組みに関するコンサルティング業務を行うにあたり、自らが実践し、その有効性を確認する。

### 1. 従業員の自主的継続的取り組み

従業員自らが、本環境方針に従い自主的継続的に環境活動に取り組むよう、実施体制や行動手順書等関係する文書記載事項を従業員に周知する。

### 2. 自社の環境への取り組みを社会に発信する

自社の環境への取り組みによる経験や知見を、業務を通じて広く社会に発信し、積極的に環境コミュニケーションを図ることで、地域社会の環境への取り組みに寄与する。

### 3. 環境関連法規等の遵守

廃棄物の排出等において、環境関連法規や条例、要綱等を遵守する。

### 4. CO<sub>2</sub>削減・廃棄物削減・節水への取り組み

CO<sub>2</sub>削減のため、化石燃料消費の削減を図る。廃棄物削減のため、紙資源の有効利用とリサイクル処理を促進させる。

節水意識の向上を図るため、使用量の把握を行う。

### 5. グリーン購入の促進

環境への取り組みの一環として、業務上購入する物品のグリーン化を促進する。

平成16年 1月26日策定

平成20年 4月 1日改定

株式会社 **環境と開発**

代表取締役 会長 田邊 裕正

社長 田邊 陽介

## 1. 組織の概要

### 【事業所名及び代表者氏名】

会社名 株式会社 環境と開発  
代表取締役 会長 田邊 裕正  
社長 田邊 陽介



### 【所在地】

所在地 本社所在 〒861-8074 熊本県熊本市北区清水本町18番18号  
TEL : 096 - 345-3806 FAX 096 - 344-5518  
URL : <http://www.etod.co.jp> E-mail : [info@etod.co.jp](mailto:info@etod.co.jp)  
沖縄支店 〒902-0075 沖縄県那覇市国場1171番地の11  
東京事務所 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町5-4-8F  
( 駐在員不在のため管理対象外 )

### 【環境管理責任者】

環境管理委員長 寺岡昭彦 ( 取締役副社長 )  
【連絡先】TEL 096 - 345-3806

### 【事業の内容】

環境と開発に関するコンサルティング  
環境 : 各種調査 環境アセスメント 廃棄物処理施設整備支援 許認可手続  
開発 : 測量 土木設計 開発計画 許認可手続

### 【事業の規模等】

設立 昭和52年11月22日  
沿革 平成3年4月11日 株式会社に組織変更  
平成13年1月1日 社名変更(旧社名 (株)土地開発プラン)  
資本金 1000万円  
従業員 14名  
登録 測量業(3) - 14313号、建設業(般6) - 12498号、  
熊本県行政書士会 0977 - 01780480  
土壤汚染対策法環境大臣指定調査機関 環 2003 - 1 - 248  
有資格者 行政書士1名、環境カウンセラー3名、エコアクション21審査人4名  
公害防止管理者(大気1種、水質1種、ダイオキシン類)1名、  
測量士2名、1級土木施工管理技士4名、2級土木施工管理技士1名

## 2. 環境活動計画 (H23 年度分)

### 【環境活動計画の内容】

#### 電力・灯油・ガス

担当：渡邊・藤本

##### 電気消費の把握

- ・毎月使用料のチェックを行い、消費量が前年度より増えた場合は、削減対策を検討する。
- ・集計結果を基に取り組み状況の把握と問題点を抽出し、改善対策の協議を行い社員へ提案する。

##### 電気

- ・日頃使用頻度が少ないコンセントは、使用時に差し込むよう徹底する。
- ・不必要な照明の消灯を周知徹底する。
- ・消費電力の少ない電灯への変更を検討する。
- ・食事場所以外の照明は、昼休み時間は一斉消灯する。
- ・社内の照明は必要最小限にし、不要箇所の蛍光灯を間引く。

##### 空調

- ・設置した不快メーターの不快指数を考慮し、冷暖房の温度を調整する。
- ・エアコンのフィルター清掃を定期的に行う。
- ・空調設備の不具合については、早急に対応する。
- ・窓の開閉等による外気取り入れやブラインド等を使用し、熱の出入を調整する。(クールビズ・ウォームビズの徹底)

##### パソコン

- ・全てのパソコンの自動省エネモード使用を継続する。
- ・退社時にディスプレイの主電源 OFF にすることを周知徹底する。
- ・夜間や休日及び外出時・不使用時の電源 OFF を徹底する。

##### その他

- ・省エネナビを活用し、データを把握して報告会で報告する。
- ・灯油の保管容器は、毎日、蓋が閉まっていること確認し、揮発を防止する。
- ・窓に断熱フィルタを張り、外気温の影響を軽減する。
- ・ノー残業デーを推奨し、夜間の消費電力を軽減する。
- ・ライトダウンキャンペーンに積極的に参加する。

#### 水資源・清掃・緑化

担当：内田・石原

##### 水

##### 節水・排水環境として

- ・毎月の水使用量を把握し記録する。
- ・会社内の節水に関する呼びかけを行なう。
- ・水漏れチェック(水道配管(月1回))し、記録確認する。
- ・トイレタンクから便器への水漏れチェックを行い、必要であれば修理する。

- ・食器用洗剤は、引き続き「やしの実洗剤」を使用する。
- ・蛇口の下の元栓を少しだけ絞って節水する。(節水コマの代用)

##### 掃除

- ・毎週月曜日の AM 8 時から社員全員で社内及び会社周辺の掃除を継続して行う。
- ・書類棚の整理整頓、エアコンの掃除などを呼びかけ定期的に行う。

##### 緑化

- ・水やりを定期的に行う。(栄養剤の補給も行なう)
- ・現在ある観葉植物や社員で随時持ち寄った植物などを管理していく

#### グリーン購入と紙資源

担当：山下・飯星

##### グリーン購入

- ・買い過ぎない。更にグリーン購入化を推進する。
- ・事務用品倉庫の整理整頓。(3ヶ月に1回程度)
- ・過剰包装反対をアピール。(廃棄物担当と連携)
- ・購入金額と品目別にグリーン購入率を把握していく。

##### 紙資源

- ・ミスコピーを減らし、再利用(裏紙・メモ用紙)をする。(廃棄物担当と連携)コピー使用量削減!を図る。
  - ・書類のデータ化  
経理関係書類・許認可申請書類等、出来ることから進めていく。  
データ化、データ管理の検討を進める。
  - ・用紙の購入量把握を行う(明細書にてチェック)
- 紙資源投入量の削減について、環境技術協会使用分、九州環境カウンセラー協会使用分はカウントしたうえで差引く
- ・ダイレクト FAX を推進していく。

#### 自動車燃料

担当：日野・山口

##### エコドライブを推進し実践する

- ・「エコドライブ10のすすめ」を実践。燃料消費量の削減に努める。
- ・社内エコドライブコンテストを行う。7月(エアコン使用開始後の月)の各自の燃費を確認し、それを基準として、それぞれ目標設定し、実施する。8月から開始予定。(社員全員参加)

##### 各車両ごとの燃費の把握

- ・燃料給油時の走行キロ数と給油量を「車両使用燃料管理表」に記録する。
- ・車両毎の使用燃費の集計を行い、燃料消費量の削減量等を報告会にて発表する。

##### 自動車性能の維持管理

- ・3ヶ月に1回、タイヤの空気圧を確認し、チェックシートに記入する。(徹底)
- ・社用車には、オイル、エレメントなど定期的に交換を行い、車両性能を維持する。

##### 公共交通機関利活用の利活用、行き先の情報交換による合理化の推進

- ・遠距離への移動は、可能な限り公共交通機関を利活用する
- ・週礼及び外出の際、行き先の情報交換を行い、効率の良い訪問ルートを検討し行動する。

##### 燃費の良い車両を優先的に使用する

- ・「社用車乗車予約表」を活用し、効率UPに努める。(プリウスの活用)
- 今後の計画  
社内の「ノーマイカーデー」実施を検討。

#### 廃棄物

担当 野口・森崎

##### 廃棄物の削減

- ・廃棄物の計量、記録、動向把握の継続
- ・過剰包装反対のアピールの継続
- ・段ボール、包装用紙の再利用の継続
- ・印刷済み用紙の再利用の徹底
- ・マイはしの使用、タバコの吸殻減らそう運動推進
- ・マイボトルの使用
- ・削減率UP(特に缶類の削減率UPに努める)

##### 廃棄物の分別

- ・ペットボトル、ビン、缶、埋立ゴミの分別の継続
  - ・シュレッダーにかけるものとかけないものの分別の徹底
- リサイクル
- ・委託先のリサイクル状況の確認
  - ・お弁当ガラ回収の維持及び事業者へのリサイクルの働きかけ
  - ・顧客へのリサイクルの働きかけ
- 名刺サイズ以上の紙のリサイクルの徹底

#### 環境教育

担当：田邊裕正・田邊陽介・寺岡

- ・7,10,1,4月のエコアクション報告会において、ワンポイント環境教育を行う。
- ・仕事始め(1月)に行う内部監査時に、環境教育を行う。

#### セミナー・講演・社会貢献活動

- ・社員は、エコアクション21地域事務局、当社の審査人や環境カウンセラーが行うエコアクション21の一般向けセミナーなど、年に1回以上参加、受講する。または、くまもと温暖化対策センターなどのボランティア活動に参加する。

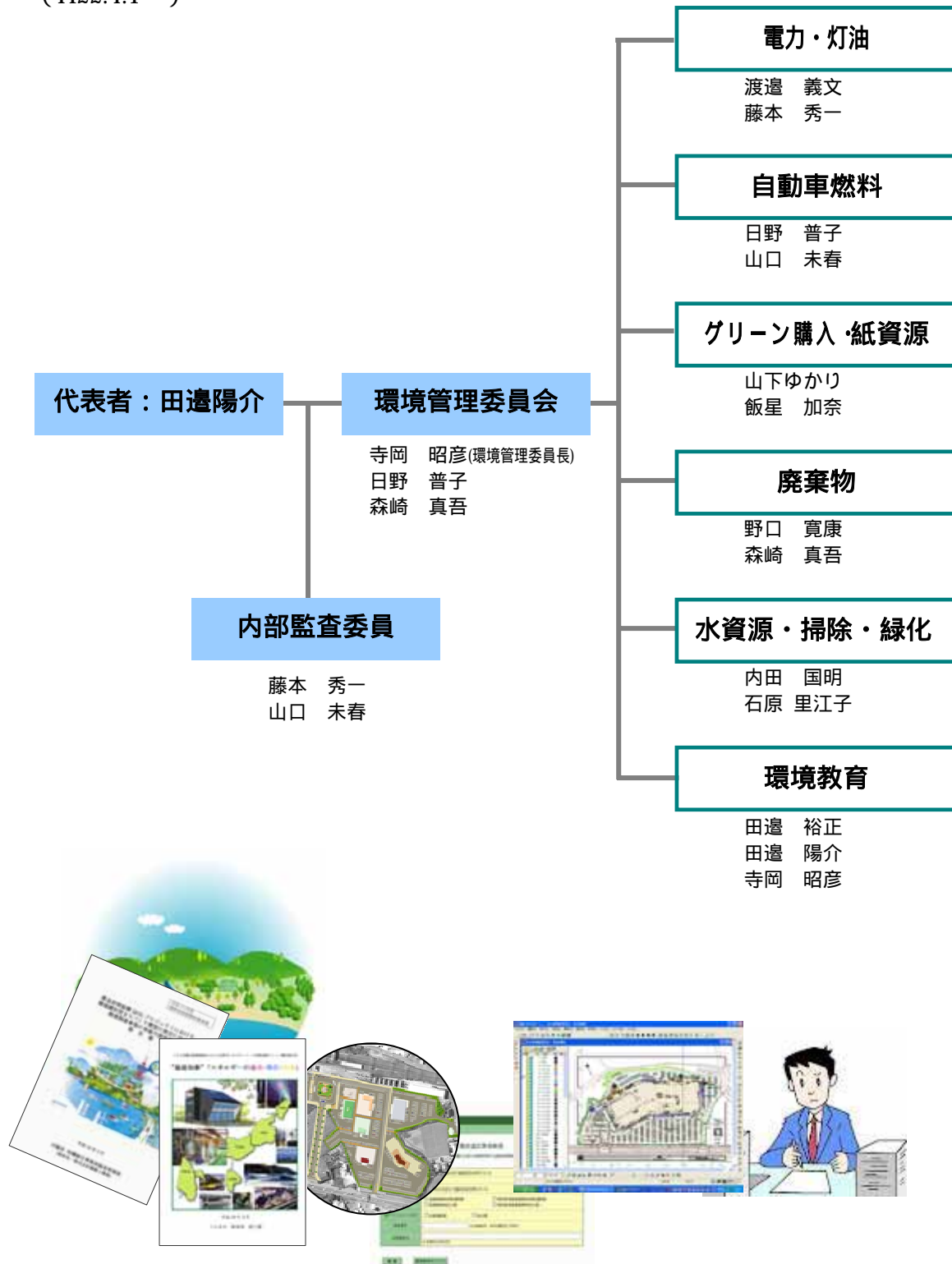
H23.5.27 策定

## 【環境活動計画の実施について】

環境活動計画に掲げた項目は、随時始められるものなので新年度開始と共に実施する。

## 【環境活動計画の実施体制】

(H22.4.1～)





### 3. 環境目標と実績

#### 【平成23年度 環境目標と実績】

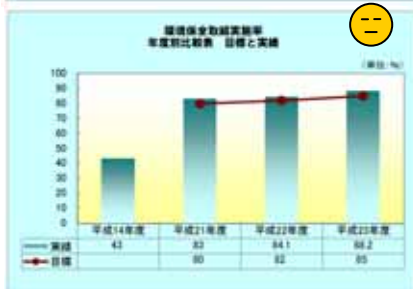
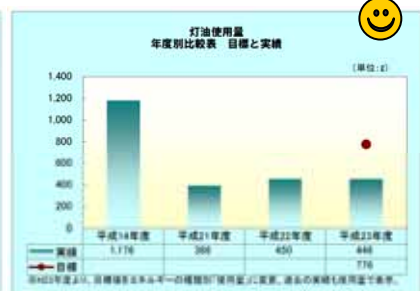
項目		単位	H14 (基準年)	H23 目標	H23 実績	達成状況
エネルギー	電力使用量	kwh	37,264	24,595 (-34%)	22,959 (-38%)	
	ガソリン使用量	リットル	20,209	13,338 (-34%)	16,877 (-16%)	×
	灯油使用量	リットル	1,176	776 (-34%)	446 (-62%)	
紙資源投入量		枚/百万円	1,582	1,440 (-9%)	1,432 (-10%)	
		枚	(総資源投入量 147,622)		(総資源投入量 160,740)	
CO <sub>2</sub> 排出量	3	Kg-co <sub>2</sub> /百万円	685	452 (-34%)	430 (-38%)	ワイス 81 車両 349
		Kg-co <sub>2</sub>	(総排出量 63,963)		(総排出量 48,283) (-24.6%) (前年総排出量 50,155)	
水資源投入量		m <sup>3</sup> /百万円	2.0	1.0 (-50%)	1.4 (-30%)	
		m <sup>3</sup>	(総投入量 183)		(総投入量 160)	×
グリーン購入率		%		65	64	
環境保全取組率		%	43	85	88.2	
廃棄物	コピー紙			リサイクル に回す	リサイクルに回す	
	ペットボトル					
	缶類					
	可燃ごみ	%	346kg	1	-25%(259.5kg)	-30% (243.1kg)
環境関連セミナー・講演などの実施		回	8	2	14	37

1 可燃ごみについて、基準年はH18年総排出量とする。

2 所属する環境NPOの活動を含む。

3 CO<sub>2</sub>排出係数については、従来通り燃料:0.0671、灯油:0.0679、電気:0.348を使用。

参考 当社在籍のEA21審査人の本年度審査件数は40件であった。



## 4 . 環境活動計画の取組結果とその評価

### 【環境活動計画の取組み結果とその評価】

#### 環境管理委員会

- ・本年度 CO<sub>2</sub> 削減目標は達成出来た。CO<sub>2</sub> 総排出量も大幅に削減できた。  
( 22 年度 50,155 Kg-co<sub>2</sub>      23 年度 48,283 Kg-co<sub>2</sub> )  
これは、昨年以上に節電意識が高まったことと、1F のエアコンを省エネタイプの機種に交換したことや社内の照明の間引きを行ったことにより大幅に電力使用量を抑えられた結果だと考えられる。CO<sub>2</sub> 総排出量のうち自動車燃料の割合が 81% と昨年同様大半を占めた（これは我社の環境負荷の特性でもある）。本年度は、エコドライブコンテストを開催したが、大幅な改善には至らなかった。しかし、エコドライブの意識を高めることが出来た。今後も継続してエコドライブに努めることが必要で、社用車は、燃費の良い車両の使用頻度を増やすよう全社員へ周知している。
- ・紙資源投入量については、昨年同様、書類のデータ化や F A X のデータ処理など社員一人ひとりの意識が高まったことにより削減することができた。
- ・水資源投入量については、目標を達成することはできなかった。これは、トイレタンクからの水漏れが認められたためと思われ、早急に交換修理したことで今後改善すると思われる。また、トイレ使用後のレバーが上がったままになっていたり、蛇口の閉め忘れ等が見受けられたため、注意を呼びかけ、今後も経過観察する。
- ・廃棄物の「可燃ごみ」についても削減できた。( H22 年度 294.9 kg      H23 年度 243.1 kg )  
今後も紙類のリサイクル推進し、可燃ごみの量を減らすよう努力していく。
- ・E A 21 の普及活動については、昨年同様、顧客業界や団体、N P O 組織を通し普及に努めていく。
- ・H23 年度活動計画に基づき、各担当が中心となって全社員に周知・啓発し取り組みを実施することが出来た。今後も継続していく。

平成 24 年 5 月 30 日 環境管理委員会

#### 内部監査

- ・各担当を中心に環境行動計画が適切に実施されており、エコアクションが自主的に運営されていることを確認した。
- ・エアコンの交換・蛍光灯の間引き等の節電行動が実施され、電気使用量が大幅に削減されている。エコドライブコンテストにより、社員全員の取組意識の向上が計られた。
- ・ノーマイカー通勤やライトダウン運動に各自が積極的に参加した。
- ・電気ヒーターの購入検討が十分でなく、環境管理システムについて、再度見直す必要がある。

平成 24 年 1 月 5 日 内部監査委員

#### 【エコドライブコンテスト】

- ・実施期間      H23.8 月～12 月までの 4 ヶ月間
- ・実施基準      H23.6 月、7 月の燃費を基準に、各車両ごとに目標を設定。  
それぞれ 5% 改善を目標に掲げた。  
車両    計 17 台
- ・結      果      8 台目標達成できたが、9 台は達成できなかった。  
基準月 平均値燃費      10.21km/  
  
実施月 平均値燃費      10.56km/  
全体では 3.4% の燃費が向上。( 目標の 5% には届かなかった )  
優勝者に金一封贈呈。



【中小企業団体の会員企業とその従業員の家庭における節電行動の推進】参加 [熊本県]



- ・実施期間 H23.11月、12月の2ヶ月間
- ・対象者 事務所及び一部の社員9名(昨年の同期間の電気使用量との比較が可能な家庭)
- ・実施内容 2ヶ月間特に意識して節電行動した。  
起算日(11/1)と終了日(12/末)の電気メーターを記録、電気代請求書と一緒に提出。
- ・結果 事務所の削減率44%だった。  
社員の中での最も高い削減率は37%だった。これは全参加者76名のうち4位の成績で表彰を受けた。今後も節電行動を推進していく。

【うちエコ診断】受診 [環境省/NPO くまもと温暖化対策センター]



- ・実施 H23.12
- ・対象者 全社員(各家庭)
- ・実施内容 家庭でのCO2削減や節電に取り組んでいくため、事前アンケートに答え、うちエコ診断員に診断し評価してもらった。
- ・結果 「診断結果」と「総合的な対策の検討」を各自書面にて受取った。  
今後、それぞれが家庭においても意識を高め取り組んでいく。

## 5. 新年度 環境目標と主な取組内容

		環境目標				
項目	単位	基準年	短期目標	中期目標	長期目標	
		H14	H24	H25	H26	
エネルギー	電力使用量 1	kwh	37,264	23,104 (-38%)	23,104 (-38%)	23,104 (-38%)
	ガソリン使用量 1	リットル	20,209	12,530 (-38%)	12,530 (-38%)	12,530 (-38%)
	灯油使用量 1	リットル	1,176	729 (-38%)	729 (-38%)	729 (-38%)
紙資源投入量	枚/百万円 2	1,582	1,440 (-9%)	1,424 (-10%)	1,408 (-11%)	
CO <sub>2</sub> 排出量 (係数) 電気:0.348 燃料:0.0671、灯油:0.0679	Kg-co <sub>2</sub> /百万円 2	685	425 (-38%)	425 (-38%)	425 (-38%)	
水資源投入量	m <sup>3</sup> /百万円 2	2	1.0 (-50%)	1.0 (-50%)	1.0 (-50%)	
環境保全取組率	3	%	43	86	87	88
グリーン購入率	4	%		70	75	77
環境関連セミナー、講演など	回		8 <sup>5</sup>	16	18	20
廃棄物	コピー紙			リサイクルに回す		
	ペットボトル					
	缶類					
	可燃ごみ 削減率	%	(576.9kg) 346kg <sup>6</sup>			
<p>1 「総エネルギー投入量」については、エネルギーの種類別(「電力」「ガソリン」「灯油」)使用量にて把握する。ただし、ガス使用量は全体の0.01%程度なので割愛する。</p> <p>2 指標原単位は外注費を除く売上総利益百万円当たり统一到。尚、CO<sub>2</sub>総排出量の目標は設定しないが、実績報告の際に年間の総排出量を表示する。</p> <p>3 環境保全取組率はガイドライン(2009年版)標準フォーマットに変更。</p> <p>4 グリーン購入については、購入品目ごとの目標値設定とする。</p> <p>5 所属する環境NPOの活動を含む。</p> <p>6 可燃ごみの基準年はH18年総排出量とし、目標値は、紙類リサイクル分を含んでいるためH22の目標値の60%とする。 化学物質等の使用はありません。</p>						



## 【H24年度の環境活動計画】

### 電力・灯油・ガス 担当：渡邊・藤本

#### 【把握・管理】

- ・毎月使用料のチェックを行い、消費量が前年度より増えた場合は、削減対策を検討する。
- ・集計結果を基に取り組み状況の把握と問題点を抽出し、改善対策の協議を行い社員へ提案する。
- ・省エネナビを活用し、時間単位のデータを把握して報告会で報告する。

#### 【通常の取組】

- 照明
- ・不必要な照明の消灯を周知徹底する。
  - ・食事場所以外の照明は、昼休み時間は一斉消灯する。
  - ・社内の照明は必要最小限にし、不要箇所の蛍光灯を間引く。
- 空調
- ・エアコンのフィルター清掃を定期的に行い、機器の性能を維持する。
  - ・機器の異常を発見した場合は、早急に対応する。
  - ・設置した不快メーターの不快指数を考慮し、冷暖房の温度を調整する。
  - ・窓の開閉等による外気取り入れやブラインド等を使用し、熱の出入を調整する。
  - ・会社の戸締り時には、空調の消し忘れがないか必ず確認する。
- パソコン
- ・全てのパソコンの自動省エネモード使用を継続する。
  - ・退社時にディスプレイの主電源 OFF にすることを周知徹底する。
- その他
- ・ライトダウンキャンペーンに積極的に参加する。
  - ・ノー残業デーを推奨し、夜間の消費電力を軽減する。
  - ・クールビズ・ウォームビズを徹底し、空調の使用電力を減らす。

#### 【試験取組】

- ・社内内の通気を考慮した扇風機配置やすだれ設置を実験的にを行い、その効果を確認する。効果が確認された場合は、取組を継続し、来年度からは通常の取組として行う。
- ・社内の空気循環できる設備の購入検討を行う。（費用と効果検討）



### 自動車燃料 担当：日野・山口

- エコドライブを推進し実践する
- ・「エコドライブ10のすすめ」の実践を行い、燃料消費量の削減に努める。
  - ・各車両ごとの燃費の把握
  - ・燃料給油時の走行キロ数と給油量を「車両使用燃料管理表」に記入し記録する。
  - ・車両毎の使用燃費の集計を行い、燃料消費量の削減量等を報告会において発表を行う
- 自動車性能の維持管理
- ・3ヶ月に1回タイヤの空気圧を確認し、チェックシートに記入する（徹底）
  - ・特に社用車の担当者には、オイル、エレメントなど定期的に交換を行い、車両性能の維持を心がけるため、チェック表を作成し、に記入してもらう。（社内清掃にも気を配る）
- 公共交通機関利活用の利活用、行き先の情報交換による合理化の推進
- ・役所や顧客先などへの移動は、可能な限り公共交通機関を利活用する
  - ・週礼及び外出の際、行き先の情報交換を行い、効率の良い訪問ルートを検討し行動する
- 燃費の良い車両を優先的に使用する
- ・「社用車乗車予約表」を活用し、効率UPに努める。



### グリーン購入と紙資源 担当：山下・飯星

#### グリーン購入

- ・買い過ぎない。更にグリーン購入化を推進する。
  - ・事務用品倉庫の整理整頓。（3ヶ月に1回程度）
  - ・過剰包装反対をアピール。（廃棄物担当と連携）
  - ・購入金額と品目別にグリーン購入率を把握していく。
- 紙資源
- ・ミスコピーを減らし、再利用（裏紙・メモ用紙）をする。（廃棄物担当と連携）コピー使用量削減！を図る。
  - ・書類のデータ化  
経理関係書類・許認可申請書類等、出来ることから進めていく。  
データ化、データ管理の検討を進める。
  - ・用紙の購入量把握を行う（明細書にてチェック）  
紙資源投入量の削減について、環境技術協会使用分、九州環境カウンセラー協会使用分はカウントしたうえで差引く。
  - ・ダイレクト FAX を推進していく。



### 水資源・清掃・緑化 担当：内田・石原

#### 水

- 水
- ・排水環境として
  - ・毎月の水使用量を把握し記録する。
  - ・会社内の節水に関する呼びかけを行なう。
  - ・水漏れチェック（水道配管（月1回））し、記録確認する。
  - ・トイレタンクの水量を定期的に確認する。（便器への水漏れがないか確認を行い、必要であれば修理する。
  - ・食器用洗剤は、引き続き「やしの実洗剤」を使用する。
  - ・蛇口の下元栓を少しだけ絞って節水する。（節水コマの代用）掃除
  - ・毎週月曜日のAM8時から社員全員で継続して掃除を行う。
  - ・書類棚、デスク周りの整理整頓、エアコンの掃除などを呼びかけ定期的に行う。

#### 緑化

- ・水やりを定期的に行う。（栄養剤の補給も行なう）
- ・現在ある観葉植物や社員で随時持ち寄った植物などを管理していく



### 廃棄物 担当 野口・森崎

#### 廃棄物の削減

- ・廃棄物の計量、記録、動向把握の継続
  - ・過剰包装反対のアピールの継続
  - ・段ボール、包装用紙の再利用の継続
  - ・印刷済み用紙の再利用の徹底
  - ・マイはしの使用、タバコの吸殻減らそう運動推進
  - ・削減率UP
- 廃棄物の分別
- ・ペットボトル、ビン、缶、埋立ゴミの分別の継続
  - ・シュレッダーにかけるものとかけないものの分別の徹底
  - ・リサイクル
  - ・委託先のリサイクル状況の確認
  - ・お弁当ガラ回収の維持及び事業者へのリサイクルの働きかけ
  - ・顧客へのリサイクルの働きかけ
  - ・名刺サイズ以上の紙のリサイクルの徹底



### 環境教育 担当：田邊裕正・田邊陽介・寺岡

- ・7,10,1,4月のエコアクション報告会において、ワンポイント環境教育を行う。（特に節電、エネルギーについて）
- ・仕事始め（1月）に行う内部監査時に、環境教育を行う。



### セミナー・講演・社会貢献活動

- ・社員は、エコアクション21地域事務局、当社の審査人や環境カウンセラーが行うエコアクション21の一般向けセミナーなど、年に1回以上参加、受講する。または、くまもと温暖化対策センターなどのボランティア活動に参加する。

## 6 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 【環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無】

確認期間：H23.4～H24.3

分類	法令名	遵守状況・最新 チェック日付		確認	コメント
廃棄物	廃棄物処理法	5/31	11/16	寺岡	許可業者に継続して処理委託
	フロン回収・破壊法	5/31	11/16	寺岡	
公害	土壌汚染対策法	5/31	11/16	田邊 寺岡	指定調査機関
リサイクル	資源有効利用促進法 (3R推進法・パソコンR法)	5/31	11/16	寺岡	
	家電リサイクル法	5/31	11/16	寺岡	
	建設リサイクル法	5/31	11/16	寺岡	
	自動車リサイクル法	5/31	11/16	寺岡	
条例 その他	熊本県環境基本条例	5/31	11/16	寺岡	
	熊本県生活環境の保全等 に関する条例	5/31	11/16	寺岡	ごみの分別を徹底
	熊本市廃棄物の処理及び 清掃に関する条例	5/31	11/16	寺岡	ごみの分別を徹底 リサイクル率UP 缶類のリサイクルUP

## 7 . 代表者による全体の評価と見直し

- ・各自が担当項目を持っており、高い意識で運用ができています。  
また、新しく入った社員が中心に環境活動レポートを作成することで、早い段階でエコアクション21のことが理解できているため、有効な手段となっている。
- ・エコドライブコンテストをはじめ、新たな取り組みも行っている。  
通常業務でも、エアコン・照明の使用量の削減を中心に、全員で取り組みができています。
- ・環境への取組の一環として、再生可能エネルギー・省エネルギーに関する教育を積極的に実施すること。これは、今後、再生可能エネルギー・省エネルギーに関するサービスを提供するときの基礎にもなり、事業展開上も重要な項目となることを意識して行うこと。

H24.6.25 代表取締役 田邊 陽介

## 8 . 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

**【対象範囲】** 対象事業所 : 本社 (熊本県熊本市北区清水本町 18 番 18 号)  
 対象活動範囲 : 環境及び開発に関するコンサルティング

### 【レポートの対象期間及び発行日】



< 第 1 版 >

< 第 2 版 >

< 第 3 版 >

< 第 4 版 >

< 第 5 版 >

【対象期間】 H14.4 ~ H15.3	【対象期間】 H15.4 ~ H16.3	【対象期間】 H16.4 ~ H17.3	【対象期間】 H17.4 ~ H18.3	【対象期間】 H18.4 ~ H19.3
【発行日】H15.5	【発行日】H16.5	【発行日】H17.5	【発行日】H18.5.26	【発行日】H19.5.28



< 第 6 版 >

< 第 7 版 >

< 第 8 版 >

< 第 9 版 >

< 第 10 版 >

【対象期間】 H19.4 ~ H20.3	【対象期間】 H20.4 ~ H21.3	【対象期間】 H21.4 ~ H22.3	【対象期間】 H22.4 ~ H23.3	【対象期間】 H23.4 ~ H24.3
【発行日】H20.5.30	【発行日】H21.5.29	【発行日】H22.5.31	【発行日】H23.5.31 【改訂日】H24.1.24	【発行日】H24.6.25



株式  
会社

# 環境と開発

Environment:      Development

「エコアクション21  
環境活動レポート 2012

発行日：H24.6.25 発行  
発行者：株式会社 環境と開発  
編集者：山口・環境管理委員会